

沼津柿田川ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長
RI第2620地区ガバナー
会長
幹事
例会日時
例会場
事務局

ホルガー・クナーク
志田 洪顯
梅田 欣一
川口 尚史
毎週水曜日 点鐘12:30
沼津卸商社センター 2F
〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
TEL 055-971-6500
〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
E-MAIL officework@rcj-nk.org

会長挨拶



第1772回例会 会長挨拶

会長 梅田欣一

皆さん、こんにちは。

4連休明けの水曜日ですが、皆さんは、この4連休はどのようにお過ごしたのでしょうか。

私は、ほとんど仕事をせず、墓参り、筋トレ、テレビを見るなどして過ごしました。

この前の週末に、アメリカ、ニューヨークのママロネックにあるウイングドフットゴルフクラブにて、ゴルフの全米オープンがありました。松山選手は、最終日に崩れてしまって残念でした。優勝したのは、ブライソン・デシャンボー選手です。彼は、南アメジスト大学で物理学を専攻、「科学者」の異名を持つ、ドライバーのロフトは5.5度(表示は7.5度)、アイアンの長さはすべて37.5インチで統一、肉体改造して筋肉ムキムキとなり、体重109キログラム、ラウンド中6ホール毎にプロテインを飲む、という非常に個性的な選手です。

ウェイトトレーニングをして失敗した選手は、セベ・バレステロスや、デビット・デュバルなどがありますが、デシャンボーは、成功例ということになると思います。

以上、今回の全米オープンの紹介でした。これで、本日の会長挨拶は終わります。

幹事報告



■ 事務連絡 ■

- *ガバナー事務所より
後任ガバナー就任のお知らせ 到着
ガバナー/ミニデジグネット決定のお知らせ 到着
ガバナー事務所メールアドレス変更のお知らせ 到着
複数クラブ合同奉仕事業支援再募集のご案内 到着
第7回日台ロータリー親善会議福岡大会中止のご報告 到着
- *ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま246 到着
- *沼津北ロータリークラブ
クラブ創立0周年にかかるお知らせ 到着

■ 例会変更 ■

- *沼津ロータリークラブ
9月25日(金)→休会<MU受付有り>
- *沼津西ロータリークラブ
9月24日(木)→移動例会<MU受付有り>

■ 週報到着 ■

沼津RC・沼津西RC

会員バースデー卓話



会長 梅田欣一

改めまして、皆さん、こんにちは。

本日は、バースデー卓話ということで、9月生まれの私が卓話をさせて戴きます。

今年度の私の会長就任挨拶の時にお話しましたように、コロナでのステイホーム期間中、私は、古事記のことを読んで勉強しておりましたので、本日は、古事記のことをお話したいと存じます。神様のお話をしますが、宗教的なお話ではなく、あくまで一般教養としてのお話になりますので、宜しくお願い致します。

皆さん、2月11日は、何の日か知っていますか。建国記念日ですね。では、建国記念日は、どういう日でしょうか。それは、初代天皇である神武天皇が即位した日です。その日は、旧暦(太陰暦)の1月1日でしたが、現在の太陽暦に直すと2月11日になるということで、毎年2月11日が建国記念日となっております。ただ、初代天皇である神武天皇は、実在性が疑われております。

静岡県に焼津市という町がありますよね。「焼津」という地名の由来を知っていますか。それは、ヤマトタケルの話に由来します。ヤマトタケルが大和の国から東征した時、相模の国造(さがみのくにのみやつこ)に騙されて、草原で火攻めにあります。それを、お婆のヤマトヒメから渡されていた天叢雲剣(あまのむらくものつるぎ)と火打ち石を使って切り抜けたというエピソードがありました。このエピソードから、その地を「焼津」と呼ばれるようになりました。また、天叢雲剣のことを草薙の剣(くさなぎのつるぎ)と呼ばれるようになりました。草薙の剣は、三種の神器の一つですね。ヤマトタケルは、第12代景行天皇の子どもですが、景行天皇もヤマトタケルも実在性が疑われております。

では、比較的皆さんにも身近な神社のことについて、お話します。日本はもともと多神教の国ですが、それぞれの神社は、様々な神様を奉っております。三嶋大社は、オオヤマツミという神様を奉っております。富士山本宮浅間大社は、コノハナノサクヤヒメという神様を奉っております。柿田川公園の中にある貴船神社は、イワナガヒメという神様を奉っております。そして、オオヤマツミは、コノハナノサクヤヒメとイワナガヒメのお父さんであり、イワナガヒメが姉でコノハナノサクヤヒメは妹です。天孫降臨で、アマテラスの孫であるニニギが天の世界である高天の原(たかまの原)からこの世の世界である葦原の中つ国(あしわらのなかつくに)に降りて来た後、コノハナノサクヤヒメがとても美人なので気に入って嫁に欲しいと思います。それをその父親であるオオヤマツミに話すと、オオヤマツミは、「では、姉のイワナガヒメとセットで嫁にもらってください。」と言って、姉妹をニニギの嫁に出します。しかし、ニニギは、容姿のよろしくないイワナガヒメはいらないということで、オオヤマツミのもとに返してしまいます。すると、オオヤマツミが大層怒りました。オオヤマツミは、ニニギに対し、「コノハナノサクヤヒメは華やかな繁栄をもたらします。イワナガヒメは、末永く安定した繁栄をもたらします。イワナガヒメを返したと

いうことは、末永く安定した繁栄を捨てたことになります。」と言って、アマテラスの孫であるニニギにいずれ死ぬ運命であることを告げます。つまり、天皇の血筋に寿命ができたことになります。というのが、オオヤマツミ、コノハナノサクヤヒメ、イワナガヒメの話です。

次に、この世界が始まった時の話からして行こうと思います。最初に、天も地も分かれていない時に、天御中主神(あめのみなかのぬしのかみ)という神様が現れました。次に高御産巢日神(たかみむすひのかみ)という神様が現れました。さらに、神産巢日神(かみむすひのかみ)という神様が現れました。その後にも何柱かの神々が現れた後(神様は、1人2人ではなく、1柱2柱と数えます。)、イザナギという男の神様と、イザナミという女の神様が現れました。イザナギとイザナミは、神々から、大地を固め世界を作りなさいと命じられました。イザナギとイザナミは、天の浮き橋(あまのうきはし)から、天の沼矛(あまのぬほこ)を使って、海をかき混ぜました。すると、海水が滴って固まり、島になりました。その島をオノゴロ島といいます。オノゴロ島は、淡路島の近くの沼島ではないかと言われています。イザナギとイザナミは、オノゴロ島に降り立って大きな神殿を建てました。そして、イザナギは、イザナミに対して、「そなたの体はどうなっているのか。」と尋ねました。するとイザナミは、「私の体は、成人してもなお足りないところがあります。」と言いました。これに対してイザナギは、「私は、成人してもなお、余っているところがある。私の余っているところをそなたの足りないところに埋めて、国作りをしよう。」と言いました。そこで、イザナギとイザナミの国作りが始まりました。神殿の中にある大きな柱を左右に分かれて進み、落ち合った先で、イザナミが、「まあ、なんてすてきな殿方でしょう。」と言いました。これに対してイザナギが、「なんて美しい乙女なんだ。」と言って、交わりました。しかし、最初に出来た子どもは、ナメクジのような不完全なものでした。水蛭子(ひるこ)といいます。イザナギとイザナミは、水蛭子を自分達の子どものとは認めたくなかったため、流してしまいました。次に出来た子どもは、淡々していました。淡島(あわしま)といいます。イザナギとイザナミは、淡島も流してしまいました。イザナギとイザナミは、うまくいかないことを神々に相談しました。すると、神々の答えは、「女の方から声を掛けるのがよくない。男の方から声を掛けるべきだ。」とのことでした。イザナギとイザナミは、言われたとおりイザナギの方から声を掛けてやってみると、それにより大きな島が生まれました。淡路島でした。その後、イザナギとイザナミは、四国や紀伊半島という大地や、さまざまな神々を生みました。しかし、火の神様であるカグツチを産んだ時、イザナミは、女性の大事な部分に大火傷を負って死んでしまい、黄泉の国(よみのくに)に行ってしまいました。すると、イザナギは、怒りにまかせて、生まれたばかりのカグツチを殺してしまいました。

その後、イザナミのことをどうしても忘れられないイザナギは、イザナミに会うために黄泉の国へ行きました。黄泉の国の門の前まで来たイザナギは、門の向こう側にイザナミがいることを知って、イザナミに対して、一緒に帰ろうと言いました。すると、イザナミは、イザナギに対して、「黄泉の国の主に聞いてくるから待っていてほしい。その間、決して門を開けて中を覗いてはダメです。」と言いました。そこで、イザナギは、待つことにしました。イザナギは、かなりの長時間待たされました。そこで、待ちきれなくなって、ついに門を開けて中を覗いてしまいました。すると、全身の皮膚がただれ、体中にウジがわいた醜い姿のイザナミを見ました。イザナギは、驚いて逃げ出してしまいました。そこで、頭にきたイザナミは、醜女(しごめ)達とともにイザナギを追いかけました。これに対してイザナギは、途中にあった桃の木から桃をとって、醜女やイザナミに投げつけて、なんとか追っ手を振り払うことができました。桃には、魔除けの効果があるとされています。

なんとか追っ手から逃れたイザナギは、死の世界のものに触れ

委員会報告

ロータリー財団委員会

委員長 菊地勝男

ロータリーカードの入会手続きをお願いします。インターネットで検索してください。

本日のゲスト・ビジター

ビジター・ゲストはありませんでした。

スマイル報告

川口尚史 米山記念奨学会へ×2口
川口尚史 ロータリー財団へ×2口
川口尚史 今月もよろしく。
濱田清明 今月もよろしく。
濱田清明 米山記念奨学会へ。
濱田清明 ロータリー財団へ。
岩邊亜紀 米山記念奨学会へ。
岩邊亜紀 ロータリー財団へ。
梅田欣一 米山記念奨学会へ。
梅田欣一 ロータリー財団へ。
梅田欣一 誕生日です。ありがとうございます。

て体が汚れたということで、川で禊(みそぎ。身を清めるために体を洗うこと。)をしました。すると、禊によって、3柱の尊い子どもの神様(三貴子)を生むことができました。それがアマテラス、ツクヨミ、スサノオです。

イザナギは、三貴子に対して言いました。「アマテラスは天の世界を治めなさい。ツクヨミは、夜の世界を治めなさい。スサノオは、海の世界を治めなさい。」と。しかし、スサノオは、母であるイザナミに会いたいと言って泣くばかりで、海の世界を治めようとしなかったため、海の世界は荒れ狂っていました。そこで、怒ったイザナギは、海の世界からスサノオを追放してしまいました。

海の世界から追放されたスサノオは、天の世界にいるアマテラスのところに来ました。アマテラスは、スサノオが天の世界を乗っ取ろうとしないかと疑いました。そこで、スサノオは、アマテラスの疑いを晴らすために、誓約(うけい)をしました。誓約では、スサノオは、アマテラスの数珠を食べ、アマテラスはスサノオの剣を食べました。すると、アマテラスの数珠から5柱の男神が生まれ、スサノオの剣から3柱の女神が生まれました。アマテラスの数珠から生まれた5柱の男神はアマテラスの子で、スサノオの剣から生まれた3柱の女神はスサノオの子でした。誓約によって女神が生まれたことで、スサノオに邪心がないことが証明されたため、スサノオは、アマテラスのいる高天原で住むことが許されました。

しかし、スサノオは高天原でやんちゃし放題でした。しまいには、死者まで出てしまいました。そこで、それを憂いたアマテラスは、洞窟の中に身を隠してしまいました。これが天岩戸隠れ(あまのいわとがくれ)です。これにより、世界は、光を失い、闇に包まれてしまいました。

高天原の神々は、洞窟からアマテラスを引っ張り出すために、大宴会を開きました。アメノウズメという芸能を司る女神は、着物がはだけて両方の乳房もあらわになるほど、激しく踊りました。みんな大盛り上がりでした。すると、アマテラスが、どうしたのかと洞窟の外にいる者に声を掛けて来ました。その者は、「アマテラス様より尊い神様が来ているので、その方をお迎えしているのです。」と言って、アマテラスに鏡を向けました。これが八咫の鏡(やたのかがみ)です。アマテラスは、鏡に映っている自分を見て、「これは私ではないか。」と言いましたが、その隙に手を引っ張られて、洞窟の外に出されてしまいました。これにより、世界は再び光に包まれました。

他の神々は、言いました。「アマテラス様は何も悪くありません。悪いのは、スサノオ様です。」と。結局、スサノオは、高天原から追放されてしまい、葦原の中つ国に行くことになりました。

その後、スサノオは、八岐大蛇(やまたのおろち)を退治することになります。

まだまだ話は続きますが、時間になりましたので、本日の卓話は以上です。

◆次回例会プログラム◆ 親睦夜間例会(たま)

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席数	出席率	前々回9月5日修正出席率
8名	8名	5名	62.50%	87.50%

出席: 菊地・梅田・濱田・川口・齋藤 計5名

欠席: 前田・安本・岩邊 計3名

MU: 計0名